

外来後発医薬品使用体制加算の施設基準に係る届出書添付書類

1. 届出に係る外来後発医薬品使用体制加算の区分（いずれかに○を付す）

<p>(○) 外来後発医薬品使用体制加算 1 (カットオフ値(「3.」の④)50%以上かつ後発医薬品の割合(「3.」の⑤)70%以上)</p> <p>() 外来後発医薬品使用体制加算 2 (カットオフ値(「3.」の④)50%以上かつ後発医薬品の割合(「3.」の⑤)60%以上70%未満)</p>
--

2. 後発医薬品の使用を促進するための体制の整備

<p>後発医薬品の品質、安全性、安定供給体制等の情報を入手・評価する手順</p>	<p>品質、安全性は「オレンジブック総合版ホームページ」等を参考にして、供給体制等はMR、MSに確認したうえで、後発医薬品メーカーのホームページ等を参考にして、院内後発品採用委員会で採用を決定する。</p>
--	---

3. 医薬品の採用状況（平成 28 年 4 月 1 日時点）

全医薬品の規格単位数及び後発医薬品の規格単位数並びにその割合				
期間 (届出時の直近3か月：1か月ごと及び3か月の合計)	28年1月	28年2月	28年3月	28年1月～28年3月 (直近3ヶ月間の合計)
全医薬品の規格単位数(①)	49,420	48,493	50,990	148,904
後発医薬品あり先発医薬品及び後発医薬品の規格単位数(②)	35,568	34,872	37,439	107,880
後発医薬品の規格単位数(③)	32,950	32,143	35,159	100,253
カットオフ値の割合(④) (②/①)(%)	71.97	71.91	73.42	72.45
後発医薬品の割合(⑤) (③/②)(%)	92.64	92.17	93.91	92.93

[記載上の注意]

- 1 後発医薬品の採用について検討を行う委員会等の名称、目的、構成員の職種・氏名等、検討する内容、開催回数等を記載した概要を添付すること。
- 2 規格単位数量とは、使用薬剤の薬価（薬価基準）別表に規定する規格単位ごとに数えた数量のことをいう。
- 3 後発医薬品の規格単位数量の割合を計算するに当たっては、「「診療報酬における加算等の算定対象となる後発医薬品」等について」（平成 28 年 3 月 4 日保医発 0304 第 13 号）を参照すること。